

TAC 電験三種講座

石田先生からのメッセージ

23.06.19



23年度上期本試験を受験される方が 今やるべきこと

★CBT方式での受験を検討している方

CBTの受験期間は7/6～30と、筆記試験よりも約一ヵ月早い実施になっています。受験するタイミングにもよりますが、CBTの方にとっては既に試験直前期なので、本試験を意識した演習が必要となります。

CBTは画面上で解答を進めていくため、紙での試験に比べ、対策や練習が難しいと感じています。

特に電験では今回が初のCBT実施となるため、試験環境や問題の難易度など、わかっていないことも多くあります。

慣れない操作や多少のアクシデントの想定をして、CBTの方は、より短い時間で問題を解く練習をしておく必要があるかなと思います。

試験センターからも過去の試験問題は公表されているため、

『PCの画面上に問題を表示 → 紙面で計算』の流れで練習を繰り返すのが良いかなと思います。

CBTへの変更申込期間は6/12～23です。

TACではCBTに対応するため、『レベルチェック模試』『予想全国公開模試』を自宅のPC画面上などで受験することができます。

まだ受験方式を選択していない方は、6/23までにCBTの雰囲気を経験していただき、CBTを受けるか、筆記試験にするのかを決定するのが良いかなと思います。

CBTで1科目受験した後、「やっぱり紙面の方が良いな」となっても、

変更申込期間は6/12～23と既に終了しているので、筆記試験に戻すことはできません。

試験日を選ぶことができるというメリットと、対策が難しい・試験日が一ヵ月前倒しになるというデメリットを天秤にかけ、

CBTか筆記試験の選択を決定していただければと思います。

→次ページへ

★筆記試験の方

試験まで残り2ヵ月となりました。

この時期になると「何をしたら良いのかわからない」という相談が多くなってきます。試験は得意分野を伸ばしても配点は変わりません。得意な範囲をどれだけ勉強しようと、1問分しか出題されないのなら、配点は5点分です。

できるだけ全体的に学習を進めることで6割という合格点のハードルを下げるができます。

オススメは時間を計って過去問を1年分解くことです。

全ての論点について問があるわけではありませんが、章ごとの大きな括りで見れば、過去問は科目ごとの全試験範囲をカバーしています。

これを解くことにより、自分の苦手な範囲や忘れていた範囲を見つけることができます。それがこれから勉強すべき範囲です。

勉強すべき範囲が分かれば、あとは人によりけりですが、忘れていたなら教科書や講義動画を使って復習するところから、問題が解けないのであればミニテストやトレーニング、問題集や実力テストを解く、考え方はわかっていただけ間違えたのなら同じミスをしないよう間違えたところをまとめていくなど、勉強を進める指針が決まってきます。

このとき、範囲を絞って学習を進めていると、今度は得意だった範囲がおろそかになります。

全体を見渡すためにも、過去問を解く練習を週に1回（可能であれば多いほど良い）は取り入れられると良いかなと思います。

TACでは近年の傾向を分析し『レベルチェック模試』や『予想全国公開模試』を実施しています。

過去問だけではなく、模試類も上手に活用し、得点力アップを目指しましょう。

予想全国公開模試開始！

youtubeにて電験に関する情報を発信中！

TAC電験三種講座

予想全国公開模試

定額！ 本試験直前の仕上げ！

会場受験 2023年 **7/30** (日)

自宅受験 **7/28** (土) **7/30** (日)

全問オリジナル予想問題

個人別成績表で実力を徹底分析！

復習をサポート！Webポイント解説付

資格の学校 TAC

TAC電気チャンネル

資格の学校TAC 電験講座・電気工事士講座の公式YouTubeチャンネル！ TAC電験三種・二種講師 / 電気...

youtube.com